

日創研 後継者の採用事例

2007年～2009年 修養生制度を活用後社長就任



起業家養成スクール
2006年修了

相互電業株式会社
代表取締役社長
板倉 利幸 様

step1

起業家養成スクール修了

2006年12月
13期起業家養成
スクール 修了

step2

起業家修養制度

2007年～2009年
修養生制度
日創研 勤務

step3

社長就任

2016年8月
後継
代表取締役社長 就任



板倉社長が講師を務める
第二種電気工事士勉強会

Q. 日創研でどういったことを学びましたか？

私は一営業マンとして、東京エリアで営業の外回りを中心にさせていただきました。さすが人材教育の会社だと思いう仕組みがたくさんありました。まず「日報」です。日報で自分の数字報告、部門の数字を見える化して、数値の進捗管理がなされていました。もう一つは「会議」です。営業会議や全体会議など、その会議の進め方など勉強になりました。年末には経営方針発表と同時に社員さんへの表彰式という表彰制度があり、実際うちの会社でも表彰制度を取り入れてやっています。起業家の学び、日創研での学びというのは本当に私の基礎になっています。会社の仕組みを変えなければならぬ、改善しなければならぬポイントは山ほどあるので、それを一つひとつ取り組んでいる最中です。

2024年1月～修養生制度を活用中



起業家養成スクール
2021年修了

北垣 充貴範 さん
株式会社ヨロチョーより出向中

株式会社ヨロチョー
山陰・岡山中心に5つのブランド19店舗のFC
を展開。「新しい食文化」を提供している。

step1

起業家養成スクール修了

2021年12月
28期起業家養成
スクール 修了

step2

起業家修養制度

2024年1月
修養生制度
日創研入社

step3

社長就任

Q. 日創研でどのような学びや気づきがありましたか？

田舞代表と共に行動をする機会が非常に多いので経営者の背中を間近にみて、実際に実践的に体系的に学ぶことができたことです。毎晩の原稿のお手伝いや全国各地に移動されるのでその際のカバン持ちで田舞代表の時間の使い方などもとても勉強になりました。また、田舞代表の「やると決めたらやりきるまで寝ない。」その背中を見るだけで、ビジョンや理念の必要性や意味を感じることができました。



コーチング型「13の徳目」朝礼

Q. 一番の成長につながったエピソードを教えてください。

田舞代表のカバン持ちの他に通常業務として営業活動があります。ある時、お客様にとって、とても良いと思った研修がありご提案したところ何度か断られてしまいました。それでも諦めずにお客様の事を思い必死にご提案した結果、「熱意に負けた」と言ってお申込みいただきました。その後、研修のご状況などを伺い「とても勉強になり行って良かった」とお客様からお話頂いたことがとても自分の中で成長したと感じました。



Q. 今後の決意を教えてください。

実家ではフランチャイズを中心に事業を展開しております。これからは特に全員で同じ方向に進む力というのが必要になってきますので、日創研で学んだことをいかしていながら実家のヨロチョーでは後継に向けて準備をしていきます。日創研にいた時の方が頑張っていたといわれることがないように、これからも学びながら会社を発展させられるように頑張ります。



ビジョン経営セミナーにて10年後のビジョンを描く

Successor Hiring and Training Program

後継者採用育成プログラム（社長力体得）

3つのポイント

1



育ててきた事業を
次の時代へつなぐ

2



経営者の高齢化
後継者不在による
廃業を防ぐ

3



経営者に必要な
スキルとマインドを
体系的に習得

日本の未来をつなぐー次世代経営者の育成プログラム

2025年には、団塊の世代が75歳以上となり、日本の中小企業の経営者の平均年齢は60歳を超え、高齢化が進行しています。中小企業庁の調査では、後継者不在による廃業で日本のGDP損失は年間約22兆円規模とも試算され、社会全体に深刻な影響を与えています。

こうした課題を解決するため、日本創造教育研究所は多くの経営者を育ててきた人材育成ノウハウと理念経営の実践力を活かし、「採用」「育成」「理念の継承」を一貫して提供する後継者採用育成プログラムを構築しました。このプログラムは、後継者不在率が約60%とも言われる中小企業の後継者問題に対して、立派な次世代経営者の育成を実現します。

日創研グループ代表 田舞徳太郎

お問い合わせ先

株式会社日本創造教育研究所 総務部 TEL 06-6388-1107
〒564-8555 大阪府吹田市豊津町12-5



採用から育成、理念継承まで一貫サポート

プログラムの目的

1

事業承継の円滑化

限中小企業の経営資源（人・モノ・カネ・理念）を次世代につなぎます。

2

次世代リーダーの育成

経営者として必要なスキル・マインドを体系的に習得します。

3

理念の継承と進化

創業の精神を守りながら、新しい時代に対応できる経営者を育成します。

4

企業と個人の成長

後継者としての覚悟と自立心を育て、企業の持続的成長に貢献します。

学びて時に之を習う、
亦説はしからずや。
明遠方より来る有り、
亦樂しからずや。

応募対象

- 1

親が経営する会社があり、後継者候補である新卒学生の方
（基本的に新卒の学生が対象ですが、特別枠として既卒の後継者も受け入れる場合もあります）
- 2

経営に対して高い志を持ち、
将来企業を背負う覚悟を有する方
- 3

法人会員企業様

採用プロセス

STEP 1

面接プロセス

日本創造教育研究所の通常採用基準に準じた面接を実施します。
採用基準に達しない場合はお断りさせていただく場合がございます。

STEP 2

同意書の提出

「一般社員と異なり、経営者業務を目的とした採用である」旨を明記した同意書を提出していただきます。

STEP 3


雇用形態の決定

入社後は3年を期限とする有期雇用。その後、本人・親会社・日創研の三者面談で次のステップを決定します。

育成カリキュラム

1

立派な経営者との出会い



毎日の営業活動


日常業務終了後、社長の業務の手伝いをしながら社長の心構えなどを体得いただきます。

また、社長の秘書役を兼務し、社長の動きを把握しお礼状等対人関係の作り方についても学びます。

①テクニカルなスキルの習得
②人間的な魅力をもったアプローチ
③問題解決の提案、自主トレーニング
④成果を具体的に出していくスキルの体得

2

理念と経営・グロースカレッジ・13の徳目を活用した振り返り



知識に加えて
体験学習

①田舞による社長力の伝授とトレーニング
②文章力の強化
③対人関係能力の実践
④社長としての交渉力を業務を通して訓練する

3

各セミナーへの参加・運営

自ら運営を行い能力向上すると共に、セミナーにも参加し、社長の素養育成を図ります。

田舞塾（多くの経営者と一緒に討議）



①交渉力
②人間力
③考える力
④社長の仕事

考える力の強化のために田舞塾ケースメソッドを受講運営いただきます。受講に際して発生する宿泊代・旅費交通費はご本人負担とします。

社長塾（経営の基礎は古典にあり）



社長塾で論語を学ぶ

人間力・社長力の強化のために社長塾を受講運営いただきます。準備、後片付けなども行いますが、一受講生として1講座につき原稿用紙3枚（1200字）を提出していただきます。

4

その他の制度

起業家養成スクールの積み立て

就業期間中に日創研が主催する「起業家養成スクール」の受講料を積み立て、プログラム修了後に起業家養成スクールを受講いただきます。

住宅手当や給与

住宅に係る費用は別途住宅借上制度に基づき、初期費用は日創研が立て替えて退去時に清算します。月々の家賃はご本人の負担となります。
給与等については別紙の条件通知書に記載するものとします。

